



あざれあナビSNS

静岡県男女共同参画センター・あざれあ情報誌

epooca

この人に聞く！

佐野 大介 さん

託児所 もこちゃんハウス（認可外保育園）
父親育児応援団 パパスイッチ 代表

パパたちの家事育児

令和4年4月から育児介護休業法改正の施行が始まった。男女問わず仕事と家事を両立しやすい環境づくりが進みつつある今、従来の性別役割分担意識をより見直すことが求められているのではないだろうか。

今回、託児所「もこちゃんハウス」及び「父親育児応援団パパスイッチ」の代表を務める佐野さんに、日頃の活動や男性の家事・育児の参加について聞いた。



もこちゃんハウスの活動

30年前に佐野さんの母が始め、3年前に佐野さんに代替わりした「もこちゃんハウス」。現在は佐野さん、佐野さんの妻、母、父で経営している。もこちゃんハウスでは、保護者に寄り添うことを大事にしていると佐野さんはいう。

「子どもは預けられると大泣きしますが、1時間もすれば泣き止んで周りの子と遊び出す。その様子を写真に撮って保護者にLINEで送るサービスをしています。大泣きしている子どもを見て罪悪感を持つママがいますが、預けることは悪いことではないよと伝えたいです」

以前は精神保健福祉士として働きに出ていた佐野さん。ほぼ丸一日を妻と過ごすようになった現在は家事育児の分量が夫妻同じに。“自分はこんなにできなかったんだと思い知らされた”と話す。

「例えば料理をした時。調味料のストックがどこにあるかわからない。冷蔵庫にあったお肉で料理をしたら“お肉全部使っちゃったの”と妻に言われたことも。“家事の料理”は計画的に家族のことを考えてやるものなんだと気づきました」

（次ページへ続く）

静岡県男女共同参画センター・あざれあ

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵 1-17-1

TEL：054-250-8147 FAX：054-251-5085 e-mail：info@azarea-navi.jp

URL：https://www.azarea-navi.jp/

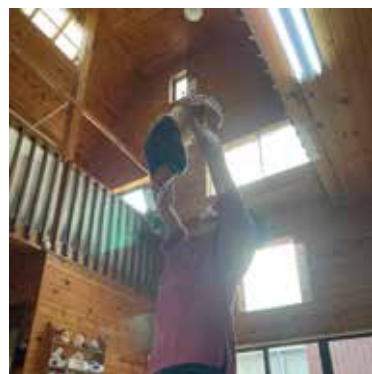
編集・発行：あざれあ交流会議グループ

(前ページの続き)

この“気づき”がパパスイッチの活動につながった、と佐野さん。

「託児所で出会ったパパママにこの話をしたら反響が良くて。“パパが子どもを外に連れ出してくれた。けど水筒の準備や泥だらけになった服の洗濯は誰がやるの?”という話をママ達から聞いたり。“パパが家族を喜ばせるために丸1日かけてこだわりカレーを作った。子どもは大喜び。でもその子どもは誰が一日見てたんだ”という話も。

パパも頑張っているんです。でもそれはママが喜ぶ方向に向いていない。だから頑張る向きを変えようと。それで“スイッチ”という名称を考えました」



アットホームなもこちゃんハウス。0～3歳の子どもが利用している

パパスイッチで得た“気づき”

パパスイッチの会員は12名(令和4年6月時点)。パパはもちろん、ママや子どもたちの参加もOK。

「パパだけとなると、活動中は誰が子どもを見るの?って。なのでパパと子ども一緒に遊びに来てよ、と。それでママの時間もつくろうと考えました。一番気をつけているのは“ママの愚痴大会にならないようにする”です」

パパスイッチでは、育休、子どもの発達や学校行事、県発行の父子手帳、家族にイライラした時の対処法 etc. 勉強会というよりは話題にあがったことを皆であだこうだと話しています、と佐野さん。

「育休の話の時は“会社にどういふ風に話した?”“育休中は何をしてた?”“妻の反応は?”とか。育休を取った人に教えていただきました。育休を“やった、休みだー”と捉えるパパも世の中にはいますし(笑)やる気があっても何から手をつけていいかわからないという人もいます。そういう人の力になりたいですね」

佐野さんにとって、パパスイッチは“人に何かを伝えるという団体ではなく、自分自身も含め、パパたちが日頃の思いを共有し、一緒に学び成長する場”。ここでも大きな“気づき”があったという。

「ママに“こうした方がいい”と言われるとパパは反発してしまうことも(笑)むしろパパ同士だから響くこともあるんです。それから、夫の家事に対して、なぜ妻が“う～ん...”という顔をしていたのか分かった気がする(笑)カレーの話と同じ。自分では家事をしているつもりだったけど、それは趣味だったって」



パパスイッチ活動中!

“家事を効率よく終わらせる方法を見つけることで、家族みんなの時間が取れるようになるのでは”と佐野さん。

「だから、まずは“妻と同じ土俵で話し合うこと”が大切。そのためには夫も家事をやってみなきゃわからない。ただ“パパも絶対に家事をやろう”というわけでもないんです。家事は妻、仕事は夫と分けてうまくやっている家庭もあるので。それぞれ得意・不得意もあると思います。でも、やったらやったで気づきがありますから」

最後に佐野さんに今後の活動について聞いた。
「パパ向けの防災講座を計画しています。ママ向けの防災講座はあってもパパ向けってあまりないんですよね」

パパ同士で得た“気づき”が男女共同参画の未来を育てている。

WEBサイトの御案内

【託児所 もこちゃんハウス】

<https://mokochanhouse.jimdofree.com/>



【父親育児応援団 パパスイッチ】

<https://papaswitch.jimdofree.com/>



ピンク色の建物が目印のもこちゃんハウス

より良い職場環境をつくる！セイセイガールズプロジェクト

設備保守や保安警備の管理、清掃業務などを営む、株式会社セイセイサーバー。従業員約400人のうち7割が女性の同社で“セイセイガールズプロジェクト”が令和元年に発足された。メンバーは全員女性。現場従事者5人と本社社員3人、アドバイザーとして総務部長と代表取締役社長の長田（ながた）きみのさんが参加している。

プロジェクト発足のきっかけは2つあった、と長田さん。

「ひとつは本社の管理事務担当の女性社員をフォーカスしたかったこと。もうひとつは、現場従業員にとって働きやすい環境をつくり、定着率をあげたかったから。そのために何ができるのかというミッションを与えたのが、このプロジェクトなんです」

本社社員がプロジェクトのリーダーとなり、月に1回会議を実施。“自己研鑽することで、より良い職場環境ができるのではないか”という意図から、従業員を対象に接遇研修や救急救命講習を企画した。

「接遇研修では敬語やマナーの勉強、ケーキを出したりもして（笑）参加した従業員は楽しく取り組んでくれましたね」そう笑って話す長田さん。

コロナ禍に見舞われてからも、プロジェクトでできることを模索したという。

「社内広報誌で、メンバーが現場従業員のお昼ご飯をレポートしたり、私が育てた野菜や釣ってきた魚のプレゼント企画をしたり（笑）」

こうした企画は現場従業員と本社社員の距離を縮める効果があったと長田さんはいう。

「現場従業員が本社に来る時、以前は少し緊張しているようでした。でもプロジェクトで企画を行うようになって、現場従業員が“〇〇さ～ん！”って本社のプロジェクトメンバーに明るく声をかけてくるように。プロジェクトの活動が社内の雰囲気づくりに繋がっているな、と手ごたえを感じています」

プロジェクトの取組は、女性活躍の促進状況が優良な企業を認定する制度“えるぼし”の取得にも繋がった。

「成果がかたちになったことで、メンバーのやりがいにも繋がっているんじゃないかな」

と話す一方で、“でも”と長田さんは続ける。

「えるぼし取得のために何かをやったわけではないんです。女性を含む全ての従業員に気持ちよく働いてもらうための改善を積極的に続けたことが、結果的に“女性活躍”という成果に結びついたんです」女性たちの取組が、会社全体のより良い未来をつくっている。



会議は和やかな雰囲気で行っている



えるぼし認定 3段階目を取得！

ブックサポーター 52

父親の家事・育児

『主婦をサラリーマンにたとえたら 想像以上にヤバくなった件』

（河内瞬 主婦の友社 2019年）



サラリーマンから主夫になった著者。夜泣きや授乳で強制的に睡眠時間を削られることのつらさや子どもを見ながら料理をすることの難しさなど、理解されにくい家事育児の大変さが見えてきます。

『パパ入門ガイド 家族を笑顔にする』

（NPO法人ファザーリング・ジャパン
池田書店 2018年）



子育てという一大プロジェクトを楽しむために、パパにしかできない役割や育児の基礎知識、遊び方や仕事との両立テクニックなどを具体的に紹介しています。これからパパになる人、3歳くらいまでの子どもがいるパパ向けの育児書です。



あざれあ図書室
利用案内

貸出：図書10冊、ビデオ・DVD4本（3週間）
開室時間：月～金 9:00 - 18:00 土日祝 9:00 - 17:00
休室日：第1・3・5日曜日、図書整理日
TEL：054-255-8763 FAX：054-255-8759



あざれあメッセ 2022

県民の皆様にも男女共同参画を楽しみながら知っていただく年に一度のイベントです。是非御参加ください！

【日 時】令和4年10月29日（土）10:00～15:00

【会 場】静岡県男女共同参画センターあざれあ

【内 容】・瀬地山角氏 男女共同参画講演会（要事前申込）
「笑って考えよう、家庭のこと、仕事のこと、未来のこと」

- ・子ども対象 防災講座（要事前申込／5～10歳対象）
- ・団体による活動紹介ブース
- ・シールラリー（予定）

【問合せ】NPO 法人あざれあ交流会議 事業課
TEL：054-250-8147（平日9時～18時）



あざれあナビ あざれあメッセ

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、内容が変更となる場合があります。あらかじめ御了承ください。

「ふじのくにさくや姫サミット 2022」

参加者を募集します（9/1～受付開始）

【日 時】令和4年11月10日（木）13:00～17:00

【会 場】静岡県男女共同参画センターあざれあ

【テーマ】「自分らしい働き方～個性や能力を組織で活かす～」

【講演会】澤田智洋氏（世界ゆるスポーツ協会代表理事／コピライター）
「“違い”と“弱さ”を生かすための働き方と思考」

【分科会】

- ・育児を支えあう仕組みづくりを考える～男性育休当事者たちの体験談～
- ・管理職になる選択、ならない選択～女性社員のホンネ～
- ・安心して意見を言える職場をどうつくる？

【問合せ】静岡県男女共同参画課 TEL：054-221-2824
<https://www.azarea-navi.jp/joseikatsuyaku/news/2240/>



ふじのくに LGBT 電話相談

静岡県内に在住、在勤、在学の方が相談できます。秘密厳守、匿名 OK、相談無料です。
性のあり方に関する悩みや困りごとについてお話しください。



☎ 0120-279-585 毎月第1火曜日・第3土曜日 18:00～22:00

※御本人だけでなく、家族、友人、職場や学校の関係者も相談可／専門相談員による相談です。

あざれあ相談 悩んだとき、困ったときは、あざれあへ



女性相談

女性が抱える様々な悩みについて、女性相談員が対応します。

0558-23-7879 賀茂／055-925-7879 東部

054-272-7879 中部／053-456-7879 西部

054-272-7887 ※全て中部へ転送されます

月・火・木・金 9:00～16:00／水曜日 14:00～20:00
第2土曜日 13:00～18:00

※いずれも、祝日・お盆・年末年始を除く
※混み合う場合がございます。時間をあけておかけ直してください。

インターネット相談

専用の入力フォームに相談内容を記入して送信してください。



※相談に対する回答は、1週間程度かかります。
お急ぎの場合は、電話相談を御利用ください。
※GW、お盆、年末年始等あざれあ相談を実施していない期間は送信いただいた相談を確認できませんので、回答には通常よりお時間をいただきます。御了承ください。

<https://www.azarea-navi.jp/shisetsu/soudan/>

DV その他暴力に関する相談（予約制面接相談）

月・木 10:00～15:00／水曜日 14:00～19:00 ※まずは電話相談におかけください。



男性相談

生き方・家族・仕事・健康等の悩みについて、男性相談員が対応します。

専用電話 054-272-7880

毎月第1・3土曜日 13:00～17:00

※つながらない場合は、少し時間をおいてかけ直してください。
※第1・3土曜日がお盆・年末年始の場合、次週の土曜日に実施します。

あざれあで配架中 リプロダクティブ・ヘルス／ライツ 啓発リーフレット



自分の体のことは自分で決めたり、自分を守ったりすることができるよう、若い年代向けにパンフレットを作成しました。



【発行・問合せ】

静岡県くらし・環境部県民生活局
男女共同参画課

TEL：054-221-3363